



令和8年8月19日発行 NO5
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口 悟
 TEL：0577-33-1111（内線235）
 E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

顔の見える関係

令和8年度 飛騨地区「あったかい言葉かけ運動」作品募集 ぜひ！

< 通信【飛騨っ子】 >

□ 家庭教育推進会議・生徒指導連携強化委員会 … 本会の名称を新しくします！

○期日：6月26日（金）○場所：飛騨総合庁舎 ○主管：飛騨教育事務所
 ○テーマ「チーム飛騨」で、すべての子に「居場所と絆」をつくる！



<日程>

- 全体会 挨拶
- 説明 家庭教育の推進，生徒指導上の問題行動等について
- 分科会 3つの共通実践行動，子どもや家庭支援について
- 全体会 指導・講話

顔の見える関係の中で、人のあたたかさに触れる体験は、人の心を潤します。心が明るくなります。元気になります。

研修を通し、子ども（大人）の「心の居場所と絆」をつくる上で誰もができ得る実践は、

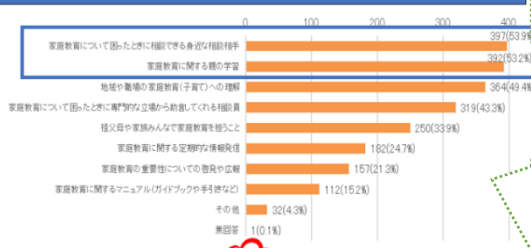
『挨拶』と『あったかい言葉かけ』だと確認されました。

参加者である私たちの心の中にも、忘れられない大切な言葉があります。機会をつくり、ぜひ親子で、またお集まりの方々と話題としてみてはいかがでしょうか。



< 「あったかい言葉かけ運動」を広げよう！ >

Q. 家庭の教育力向上のために必要なことは何ですか？



相談相手

親の学習の場

< R7年度 県政モニターアンケートより >



< 8分科会に分かれての交流 >

<飛騨教育事務所 担当>

大人と子ども，大人同士，子ども同士，家庭の中で、「あったかい言葉」が溢れるような飛騨のまちづくりにつなげたい！と考えています。

皆さんから応募された「あったかい言葉」は、Hits FM（毎週土曜日11時30分～）にて紹介されています。是非、拝聴ください。

<岐阜県県民生活課 担当>

Q. 家庭の教育力向上のために必要なことは何ですか？

A. (53.9%) 家庭教育について困ったときに相談できる身近な相手

(53.2%) 家庭教育に関する親の学習の場

* 子育て・家庭教育を支える上で大切なこととして、「相談相手」と「親の学習の場」が上位を占めています。

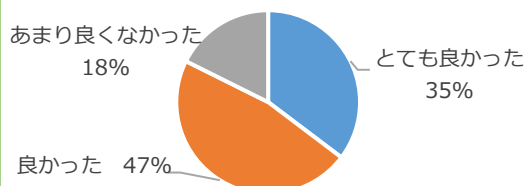
<分科会にて 交流の声>

- ・校長室の敷居を低くして、保護者の居場所となるように取り組んでいます。（学校関係者）
- ・絆の原点は、親子だと思います。夏休みに全校の親子で「お手伝い大作戦」を実践しました。（保護者）
- ・それぞれの立場で取り組んでいることを粘り強く続け、全体の気運を高めていくことが大切だと思います。（行政関係者）

□ 下呂市立金山小学校 & 中学校 ～ 保護者とつながる 笑顔が広がる ～ サロン型

○期日：金山中学校（5月1日）& 金山小学校（6月26日） ○主催：PTA 学級委員会

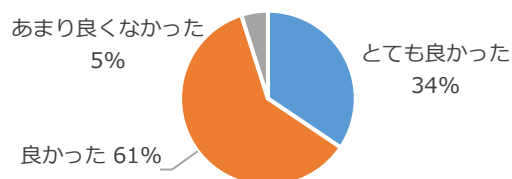
サロン型の懇談会は、
どうでしたか(金山中)



サロン型とは

小グループの和気あいあいとした雰囲気の中で、お互いの経験や悩みなどを交流し子育てのヒントをつかむ

サロン型の懇談会は、
どうでしたか(金山小)



金山 中学校



金山 小学校



○ 下呂市立金山中学校（授業参観＋学級懇談会）

初めて役を引き受けた PTA 学級委員さんが、サロン型家庭教育学級のよさを知り、中学1年生の保護者を対象に実践されました。参加された保護者の姿を見たり感想を読んだりし、初めて試みたサロン型の懇談会に「確かな手応えを感じました。」と話されました。課題も見つかったことで、「次回につないでいきたい！」と、気持ちを高めています。『課題＝のびしろ』です！

保護者みなさんの意見を大切に、アイデアを出し合いながら、ゆるくあったかいサロン型の懇談会をつくっていくことを期待します。



<参加者の感想>

- ・中学生となり、塾や部活動についてのお話ができ楽しかったです。
- ・ふだんあまり話さない人と話すことができ、子どもたちの各家庭での姿を知ることができました。

○ 下呂市立金山小学校（授業参観＋学級懇談会）

下呂市教育委員会社会教育課では、今回のアンケートによる保護者の声などをAIにて分析されました。すると、サロン型家庭教育学級が、保護者にもたらした「3つの価値」が見えてきたとのことです。3つの価値とは … ① 孤独感の解消 ② 実用的な情報交換 ③ 新たなつながりです。担当者曰く「その

通り！」さらに今後の改善案として、例えば時間に余裕があれば「途中でグループ替えをする」や「前半・後半の2部制とし兄妹のいる学年へ移動できるようにする」の2点が示されたようです。担当者曰く「なるほど！！」

地域の小・中学校で試行されたことが、すばらしい！小学校（園）で培われた保護者同士のつながりは、中学校という場においても大切なことがわかります。子どもたちの学習環境の変化や発達段階における課題を支える上で、保護者同士のつながりが途切れることなく持続可能となっていることは重要です。子育て・家庭教育に関する話題を、学校運営協議会や地域学校協働本部で交流し、地域みんなで子育て・家庭教育を支える気運が一層高まり楽しい仕組づくりが進むことを期待します。

□ 高山市立荘川さくら学園 しふおんくんといのちの授業 講演会型（親子学習）

○期日：令和8年7月9日（木） ○主催：荘川保小中さくら会学園部

○講師：絵本「シフォンケーキのしふおんくん」著者・Hits FM ナビゲーター・絆画作家

学ぶPTA 事業
を活用
(高山市生涯学習課)



< 絵本しふおんくんに込めた願い >



< 絆画作家より >



< 噛みしめるシフォンケーキの味 >

○ 荘川さくら学園のよさ

令和7年度に開校した「荘川さくら学園」。この名称には、地域の方々が集う居場所という願いが込められています。これまでの保育園の保護者会と小・中学校のPTAという組織を「荘川保小中さくら会」と一元化し、12年間の保育・教育を一貫し保護者のつながりを大切にしたい組織に再編成しました。

○ 荘川保小中さくら会学園部長より

今回、3名の講師の方をお迎えし、いのちの授業を企画いたしました。何か成果を出したから尊いのではなく「生まれてきたこと、今生きていることそのものが奇跡であり、価値がある」ということを親子で再確認できる機会になることを願っています。

講師の方のお話が進むにつれ、絵本「シフォンケーキのしふおんくん」に込められた思いと、シフォンケーキをつくり続けている思いが、心にしっかりと伝わってきます。

講師の方が『朝起きること、学校に行けること、友達と笑うこと、家族と過ごせること…当たり前がとても大切です』『人の背景（目に見えない部分）を知ると人に優しくできるようになります。そして人生が豊かになります。例えば、お弁当を手渡してくれる、お花を飾ってくれる人の背景に思いを寄せてみてください。』と、話されました。

○ シフォンケーキの味

講演が始まる前、講師の方より「シフォンケーキを食べたい人？」と言われ、真っすぐに手を挙げた学園の若き先生。少し遠慮がちにもパクリと頬張り、満面の笑顔で「美味しい!」と叫ばれました。そして、講演会が終わった後にもう一度シフォンケーキを食べられました。講師の方が「どんな味がしましたか？」と尋ねると、…「噛みしめる感覚で味わいました。ただのスイーツではなく、いろんな思いが詰まっている味がしました。作っている人のあたたかさを感じながら食べました。美味しい!だけでは、いけないと思いました。」と、話されました。



<参加者の感想>

- ・当たり前の中にある幸せをもっと味わいたい、心から感じました。本校の子どもたちは、とても真っすぐに優しい子が多いです。講演会の中の「弱くていい」「あなたのせいじゃない」というメッセージが伝わり、この先歩んでいってくれたらいいなあと思いました。素敵な授業をありがとうございました。（保護者）
- ・私は、この授業から、たくさんのことを考え感じ、心を打たれました。お話を聞いた後には、シフォンケーキがここにある意味、そのシフォンケーキに込められたいろいろな思いに触れ、別の感情が込み上げてきました。今ご飯を食べられる・今誰かと笑い合える・今この瞬間を生きていること、当たり前だと思って過ぎていくすべてのことに感謝の気持ちをもって生きていきたいと、改めて感じることができました。（生徒）

□ 白川村立白川郷学園 講演会型

○期日：7月10日（金） ○主催：白川郷学園 PTA ○対象：全保護者・教職員
○講師：小児科医 ○テーマ：メディア利用とこどもの発達 ～なっていますか？ネット依存～

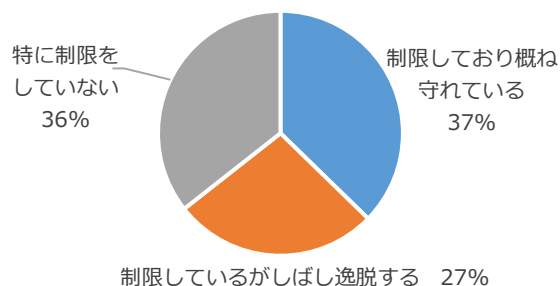


【家庭教育委員長の思い】

PTA 家庭教育学級では、「ふれあい、語り合い、学び合い、家庭で実践！」を活動目標としています。デジタルメディア利用に関する問題については、生徒指導や保健だよりでも時々挙げられています。本日の家庭教育学級の機会を通し、特に身体的影響（精神・心理的影響、脳機能・認知への影響を含む）について理解を深め、正しい知識をもって子どもと語り合うことを願っています。

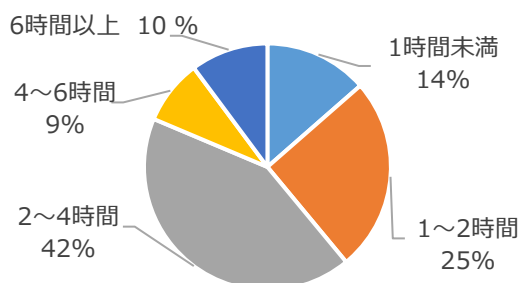
【事前アンケートの結果から（回答率 80%）】

Q お子さんのスクリーンタイムについて、視聴・使用時間の制限は行っていますか？



< ルールのある家庭は、約 6 割 >

Q 親御さん自身の1日のスクリーンタイムは合計何時間でしょう？



< 2時間以上が、約 6 割 >

Q スマートフォンやタブレットなどの電子機器の利用について、講師に質問等がありましたら記載してください。

- ・スマホ等の視聴による健康への影響を教えてください。また、健康面に対してどのようなケアをすれば良いのかも教えてください。
- ・メディアを利用するなという時代ではない中で、自分でどうコントロールするか、コントロールできる力をつけるか、その具体的な方法を教えてください。

家庭教育委員会では、研修をより深めるために、講師の方と相談し全保護者を対象に事前アンケートを実施し講演会に臨みました。講演内容には、事前のアンケート結果や質問に対する回答が示されており、参加者にとって大変身近に感じる研修となりました。実態をもとにした研修内容からは学ぶことが多く、「できることを家族みんなで考える」大切な時間となりました。



<保護者の感想>

- ・大人がメディアを使う時間が長いと、子どもも長くなるというところが印象的でした。（母親）
- ・メディアのルールを決めて、家庭で守っていきたいです。親が手本となることをまずは取り組みます。（父親）
- ・メディア利用に費やす時間が多い人は、深く物事を考えられなくなる事例に実感し納得感がありました。子どもたちには、学校教育できちんと伝わっていると思いますが、何でも答えが出てくる時代は想像力が育たないのかもしれないと感じました。（父親）
- ・依存することは、子どもでも大人でも怖いことだと感じました。自分も気をつけながら、子どもと話し合ってメディアと上手につき合えるようにしていきたいと思いました。（母親）



< 全保護者・職員による家庭教育研修会 >